

平成21年3月期 第2四半期決算短信

平成20年11月11日

上場会社名 株式会社 栄電子

上場取引所 JQ

コード番号 7567 URL <http://www.sakae-denshi.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 河邊 啓一

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理部長

(氏名) 菊池 隆之

TEL 03-3836-6821

四半期報告書提出予定日 平成20年11月12日

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第2四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第2四半期	3,084	△24.2	6	△93.9	6	△94.3	△6	—
20年3月期第2四半期	4,071	△16.6	102	△61.2	109	△60.5	51	△69.5

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円 銭		円 銭	
21年3月期第2四半期	△1.31		—	
20年3月期第2四半期	10.12		—	

(2) 連結財政状態

27 連結財政状況

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第2四半期	6,887	2,852	41.4	561.05
20年3月期	7,326	2,942	40.2	578.70

(参考) 自己資本 21年3月期第2四半期 2,852百万円 20年3月期 2,942百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	—	—	15.00	15.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,900	4.2	223	30.8	224	24.3	116	△51.7	22.82

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
- ② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第2四半期 5,090,000株 20年3月期 5,090,000株
- ② 期末自己株式数 21年3月期第2四半期 6,525株 20年3月期 5,625株
- ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第2四半期 5,083,923株 20年3月期第2四半期 5,085,275株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1.平成20年8月8日に公表いたしました業績予想のうち、当第2四半期累計期間を実績に基づき修正しております。詳細は、平成20年11月11日に別途公表しております「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。なお、平成21年3月通期の連結及び個別業績予想の修正につきましては、現在精査中であり、業績見通しが判明次第、速やかに開示する予定であります。

2.上記業績予想の内容は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、当社グループを取り巻く経済環境、市場動向等、様々な要因により、予想数値と異なる結果となる場合があります。

3.当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米国金融危機に端を発した世界的な金融の混乱から、欧米を中心とした経済の減速が鮮明となり、その影響による企業収益の悪化や設備投資の減少により、景気の減速感が一層強まる状況となりました。

このような中、当社グループの主力市場である半導体製造装置関連分野においては、半導体需要の減退また市況の悪化から製造メーカーの設備抑制姿勢がより堅固となり、そのまま低調な受注動向へと繋がっております。

また、他の産業機器分野における一般電子部品においても同様に需要は低迷した状況にあり、その影響で、売上高は引き続き伸び悩むこととなりました。

以上の結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間の連結業績は、売上高3,084百万円、営業利益6百万円、経常利益6百万円、当四半期純損失6百万円という結果になりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

（1）財政状態の変動状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、6,887百万円と前連結会計年度末に比べ439百万円減少いたしました。流動資産は、主に現金及び預金が減少したことから前連結会計年度末に比べ645百万円減少、固定資産は主に建築に伴う建設仮勘定の増加により206百万円増加いたしました。

負債は4,034百万円と前連結会計年度末に比べ349百万円減少いたしました。主に支払手形及び買掛金が前連結会計年度末に比べ242百万円の減少したことによるものです。

純資産は、配当金の支払などにより、前連結会計年度末に比べ90百万円減少し、2,852百万円となりました。

（2）キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ367百万円減少し、1,439百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果支出した資金は、5百万円となりました。これは主要因として仕入債務の減少242百万円、売上債権の減少209百万円、法人税等の支払48百万円及びたな卸資産の減少81百万円によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果支出した資金は、239百万円となりました。これは主要因として有形固定資産の取得220百万円によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果支出した資金は、122百万円となりました。これは主要因として短期借入による収入102百万円、短期借入金の返済による支出99百万円及び配当金の支払75百万円によるものです。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成20年8月8日付にて公表いたしました業績予想を、当第2四半期累計期間（連結・個別）実績に基づき「業績予想の修正に関するお知らせ」にて修正しております。

なお、平成21年3月期通期の連結及び個別業績予想の修正につきましては、大幅な環境変化にある経営環境を勘案し、現在精査中であります。検討の結果、業績予想見通しが判明次第、速やかに開示する予定であります。

上記業績予想の内容は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、当社グループの事業を取り巻く経済環境、市場動向等、様々な要因により、予想数値と異なる結果となる場合があります。

4. その他

（1）期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

（2）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

② 「棚卸資産の評価に関する会計基準」の適用

通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、移動平均法による原価法によっておりましたが、第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）が適用されたことに伴い、移動平均法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により算定しております。これにより、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益は7百万円減少し、税金等調整前四半期純損失は7百万円増加しております。

5. 四半期連結財務諸表 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,739,984	2,107,497
受取手形及び売掛金	1,629,852	1,839,611
商品	322,239	411,196
繰延税金資産	48,302	43,808
その他	32,629	17,169
貸倒引当金	△4,318	△4,726
流動資産合計	3,768,689	4,414,556
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	245,453	252,540
土地	1,170,924	1,170,924
その他（純額）	455,242	235,601
有形固定資産合計	1,871,620	1,659,065
無形固定資産	108,175	96,707
投資その他の資産		
投資有価証券	410,468	447,363
保険積立金	437,448	430,801
繰延税金資産	211,241	196,158
その他	97,522	119,690
貸倒引当金	△18,100	△37,975
投資その他の資産合計	1,138,581	1,156,037
固定資産合計	3,118,377	2,911,811
資産合計	6,887,067	7,326,367
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,401,705	1,644,656
短期借入金	985,969	982,387
1年内返済予定の長期借入金	96,992	98,040
未払法人税等	7,473	52,721
その他	139,335	164,321
流動負債合計	2,631,475	2,942,126
固定負債		
長期借入金	454,944	503,440
退職給付引当金	32,950	31,560
長期未払金	915,318	906,621
その他	282	282
固定負債合計	1,403,495	1,441,904
負債合計	4,034,970	4,384,030

（単位：千円）

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	500,000	500,000
資本剰余金	372,500	372,500
利益剰余金	1,876,114	1,959,037
自己株式	△3,496	△3,240
株主資本合計	2,745,117	2,828,297
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	110,104	119,160
繰延ヘッジ損益	△3,125	△5,120
評価・換算差額等合計	106,978	114,040
純資産合計	2,852,096	2,942,337
負債純資産合計	6,887,067	7,326,367

（2）四半期連結損益計算書
（第2四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	当第2四半期連結累計期間 （自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日）
売上高	3,084,441
売上原価	2,492,457
売上総利益	591,983
販売費及び一般管理費	585,700
営業利益	6,283
営業外収益	
受取利息	1,148
受取配当金	4,521
不動産賃貸料	2,271
仕入割引	4,101
その他	7,001
営業外収益合計	19,044
営業外費用	
支払利息	15,318
不動産賃貸費用	2,075
その他	1,618
営業外費用合計	19,012
経常利益	6,314
特別利益	
貸倒引当金戻入額	343
特別利益合計	343
特別損失	
投資有価証券評価損	12,572
特別損失合計	12,572
税金等調整前四半期純損失（△）	△5,913
法人税、住民税及び事業税	5,566
法人税等調整額	△4,822
法人税等合計	743
四半期純損失（△）	△6,657

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	当第2四半期連結累計期間 （自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純損失（△）	△5,913
減価償却費	8,742
のれん償却額	2,088
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△20,283
退職給付引当金の増減額（△は減少）	1,390
長期未払金の増減額（△は減少）	13,650
投資有価証券評価損益（△は益）	12,572
たな卸資産評価損	7,022
受取利息及び受取配当金	△5,670
支払利息	15,318
売上債権の増減額（△は増加）	209,759
たな卸資産の増減額（△は増加）	81,934
仕入債務の増減額（△は減少）	△242,950
未払消費税等の増減額（△は減少）	2,778
その他の流動資産の増減額（△は増加）	△8,743
その他の流動負債の増減額（△は減少）	△27,570
その他	7,881
小計	52,005
利息及び配当金の受取額	6,251
利息の支払額	△15,923
法人税等の支払額	△48,303
営業活動によるキャッシュ・フロー	△5,968
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△220,750
投資有価証券の取得による支出	△857
保険積立金の積立による支出	△6,647
長期貸付金の回収による収入	1,880
その他	△12,993
投資活動によるキャッシュ・フロー	△239,368
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入れによる収入	102,969
短期借入金の返済による支出	△99,387
長期借入金の返済による支出	△16,872
配当金の支払額	△75,956
その他	△32,928
財務活動によるキャッシュ・フロー	△122,175
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△367,513
現金及び現金同等物の期首残高	1,807,497
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,439,984

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

（４）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（５）セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

当第２四半期連結累計期間（自 平成20年４月１日 至 平成20年９月30日）

当社グループは、産業用一般電子部品・電子機器の販売を行っており、事業区分としては単一のセグメントであるため、該当事項はありません。

〔所在地別セグメント情報〕

当第２四半期連結累計期間（自 平成20年４月１日 至 平成20年９月30日）

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

〔海外売上高〕

当第２四半期連結累計期間（自 平成20年４月１日 至 平成20年９月30日）

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

6. その他の情報

（重要な後発事象）

当社は、平成20年10月16日開催の取締役会において、平成20年12月2日をもって連結子会社の酒東不動産管理株式会社を吸収合併することを決議いたしました。

1. 合併の目的

酒東不動産管理株式会社は、不動産管理業として事業を行ってまいりましたが、当社グループ会社再編の一環として、経営の一層の効率化を図るために合併を実施するものであります。

2. 合併の要旨

（1）合併の日程

合併決議取締役会 : 平成20年10月16日
 合併契約締結 : 平成20年10月16日
 合併期日（効力発生日） : 平成20年12月2日（予定）

※本合併は、会社法第796条第3項に定める簡易合併並びに同法第784条第1項に定める略式合併であるため、合併契約書に関する株主総会の承認を得ることなく行うものであります。

（2）合併方式

当社を存続会社とする吸収合併方式で、酒東不動産管理株式会社は解散いたします。

（3）合併比率及び合併交付金

合併による新株式の発行及び資本金の増加ならびに合併交付金の支払はありません。

（4）消滅会社の新株予約権及び新株予約権付社債に関する取扱い

該当事項はありません。

3. 合併当事者の概要（平成20年3月31日現在）

（1）商号	株式会社栄電子（存続会社）	酒東不動産管理株式会社（消滅会社）
（2）事業内容	電子部品卸商社	不動産管理業
（3）設立年月日	昭和43年2月15日	昭和59年4月27日
（4）本店所在地	東京都千代田区外神田二丁目9番10号	東京都千代田区外神田二丁目9番10号
（5）代表者の役職・氏名	代表取締役社長 河邊 啓一	代表取締役社長 染谷 英雄
（6）資本金	500百万円	100百万円
（7）発行済株式数	5,090,000株	2,000株
（8）純資産	2,726百万円	213百万円
（9）総資産	6,826百万円	346百万円
（10）決算期	3月末日	3月末日
（11）大株主及び持株比率	染谷 英雄 24.24%	株式会社栄電子 100.0%

4. 合併後の状況

（1）商号	株式会社栄電子
（2）事業内容	電子部品卸商社
（3）本店所在地	東京都千代田区外神田二丁目9番10号
（4）代表者の役職・氏名	代表取締役社長 河邊 啓一
（5）資本金	500百万円
（6）事業年度の末日	3月末日
（7）業績に与える影響	

本合併は完全子会社である連結子会社を吸収合併するものであり、業績への影響は軽微であります。